

2 笠岡諸島に関する事業

実施事業	北木島宿泊研修事業（生涯学習課）
総事業費	4,991,534円
ふるさと納税充当額	4,000,000円

北木島の特色ある北木石や海といった自然資源を利用した体験学習の提供や地域住民との交流を通じて、青少年の健全育成を図るとともに、笠岡諸島の活性化に貢献するため、北木島宿泊研修所の運営費用に活用させていただきました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休所や予約キャンセル等があり利用者数が削減してしまいましたが、3密回避、ソーシャルディスタンスの確保等の感染防止対策を徹底しながら運営しております。引き続き、少しでも多くの子ども達に笑顔になってもらえるよう努めてまいります。



実施事業	離島振興事業（企画政策課）
総事業費	10,950,000円
ふるさと納税充当額	9,000,000円

NPO法人かさおか島づくり海社との協働により、笠岡諸島で暮らす方々の支援を行う「島の暮らしサポート」、交流人口の増加を目的とする「島の交流サポート」、島民の人材育成や島ならではの實習を行う「島の学びサポート」、各島の特産品開発や紹介を行う「島の産業サポート」を通じて、笠岡諸島の活性化を図っています。

実施事業	離島航路維持補助金（企画政策課）
総事業費	13,746,346円
ふるさと納税充当額	9,000,000円

離島航路の運航によって生じる欠損額に対して補助金を支出しました。

実施事業	島しょ部高齢者通院交通費助成事業（長寿支援課）
総事業費	2,540,000円
ふるさと納税充当額	950,000円

島しょ部に住所を有する70歳以上の所得税非課税世帯の高齢者で、月に1回以上通院をする人が対象です。通院して島に帰る際の高速船を除く、普通旅客船運賃を無料にするチケットを年に24枚発行します。

令和2年度申請者数は323人で、助成金額は2,343,240円でした。

実施事業	離島小中学生交通費支援事業（企画政策課）
総事業費	82,090円
ふるさと納税充当額	82,090円

島しょ部に暮らす小中学生に対して、居住する島から本土間の移動に係る定期船の運賃を補助することで、陸地部に暮らす小中学生と同様に団体スポーツ活動や各種習い事、学習塾等の課外学習への参加の機会均等を図っています。

実施事業	交通空白地有償運送維持補助金（企画政策課）
総事業費	1,223,742円
ふるさと納税充当額	1,000,000円

交通機関空白地である過疎地域における地域住民の生活交通の確保を図るため、平成18年10月から笠岡市北木島において、NPO法人かさおか島づくり海社が交通空白地有償運送を行っています。

10人乗りの車両で、北木島の各集落と船の発着地である港や診療所を結ぶルートを週3日、1日3便運行し、島内唯一の公共交通機関として、島民に親しまれ、特に高齢者の方に大変喜ばれています。笠岡市では、同運送事業に欠損が生じた場合に、運送主体に対して補助金を支出しています。

【利用実績】

2020年（令和2年） 422人

実施事業	離島百貨店参画負担金（企画政策課）
総事業費	240,000円
ふるさと納税充当額	240,000円

全国の離島では、高齢化や過疎化による人材不足という共通する課題に直面しています。一般社団法人 離島百貨店は、こうした課題に対して、全国の離島を有する自治体が連携するというスケールメリットを活かし、都市部の方々をはじめ、広く離島の情報発信や特産品のPRなど、様々な事業に取り組むこととして、2019年2月に設立されました。

笠岡市では、全国の方々への笠岡諸島の情報発信や、離島間の情報共有、また都市部の飲食店併設型店舗におけるテストマーケティングや産品のPRを図るため、離島百貨店に参画しました。

2020年度も、東京の日本橋や神楽坂店、北海道の札幌店にある年間計16万人程度の来客がある飲食店併設型店舗において、海苔やひじきなどの笠岡諸島の特産品の販売やパンフレット等の展示により、都市部の方々に笠岡市及び笠岡諸島のPRを図りました。

また、離島百貨店には全国の離島の情報を提供いただいております。笠岡市内の飲食店で全国の離島産品を取り扱うことにした際にも、離島百貨店から情報提供いただき、全国の離島との関係を構築することができました。